



久保田 和志



のかな。

増田 一つには「公平・中立」の意味をはき違えていることが挙げられます。

本来、公平・中立は、行政が特定の思想に肩入れすべきでないという点から行政の行為を規制する根拠ですが、市民の自由な研究や表現・集会を制限する根拠に用いている点に大きな誤りがあります。

石川 そもそも、健全な民主主義の在り方としては、色々な意見があつて、それぞれの立場で自由に表現し、集会をしたり、議論・研究をして意見を深めていくことが大事だと思います。

増田 そうですね。人権を制限したり、民主主義を否定する根拠として「公平・

中立」という言葉を使うのは明らかに間違っています。

久保田 民主主義といえば、一昨年の特定秘密保護法に始まり、集团的自衛権容認の閣議決定や、今回の戦争法案など、多くの国民の反対意見を無視した現政権の判断は、まさに憲法の民主主義に違反する姿勢のあらわれですね。

侵害されている権利って何?

石川 では、「九条俳句不掲載問題」に話を戻しましょう。この問題は、本当に多くの市民・マスコミ・学者・法律家・政治家の関心を集めていますね。

石川 いち早く、俳句の作者の友人たちが声を上げて、多くの市民が応援団

特集 「表現の自由」守りたい! ~九条俳句不掲載問題~

私たちの事務所があるさいたま市大宮区。その三橋地区の公民館では、毎月の「公民館だより」に、俳句サークルで選ばれた俳句を掲載してきました。しかし、平成26年7月号のたよりに俳句の掲載はありませんでした。

その背景には、行政による一方的な判断の押し付けがあつたようです。マスコミ各社がこの問題を取り上げ、全国的に話題となりました。

今回は、弁護士活動を行っている弁護士3人がこの問題について切り込みます。

久保田 今回の座談会は、「九条俳句不掲載問題」について、できるだけ分かりやすく、問題点を説明しながら議論していきたいと思えます。

まず、この事実を説明して下さい。**石川** 端的に言いますと、「公民館」が「市民サークル」の「俳句の内容」が不適切だと判断して、「公民館だより」に俳句の掲載を拒否したという事実です。2015年6月25日に、さいたま市を被告としてさいたま地方裁判所に国家賠償請求の裁判を起しています。

久保田 どんな人が詠んだどんな俳句が問題になったの?**石川** 73歳の普通の主婦が詠んだ俳句です。

を立ち上げてくれました。そして、作者や市民応援団の声をマスコミが反応よく取り上げ、反響を呼び、何度も集会を行っていくうちに、社会教育学会や公民館学会などの学者の先生方も本気で支援してくれています。

久保田 今回は、石川さんと増田さんが訴状の重要パートを担当してくれています。それぞれ簡単に説明してもらえますか。

石川 私が担当しているのは、市民の学習の自由と、公民館や公民館だよりの在り方についてです。公民館は、本来社会教育施設として、市民の生涯学習を充実させ文化的素養を高めるために存在意義があります。行政には政治的価値観を含めて、まさに公平・中立であることが必要であり、市民の議論や研究内容に踏み込んで市民の学習の自由を制限することは許されないと強く主張しています。

増田 私は、公の施設において、市民が施設を利用することを拒否したり、差別的取扱をすることは地方自治法上違法だというテーマを中心に担当しています。

公民館は、当然、公共の施設であり、公民館が発行している公民館だよりもその公民館施設の延長ですから、従来から継続して市民サークルに開放して

『梅雨空に 九条守れの 女性デモ』というものです。

久保田 曇り空のもと、女性たちが熱心にデモに参加していることに感銘したという内容だと思うけど、この俳句の何が問題なの?

増田 公民館側は、「公民館」は「公平中立の立場であるべき」ことから、掲載は好ましくないと説明し、掲載をしませんでした。

そもそも、「公平・中立」って?

久保田 最近、「公平・中立」という言葉が一人歩きして、市民の活動を制限する根拠に使われていますね。

増田 ここ数年その傾向が強いですね。埼玉県内では、新座市の市民団体が「慰安婦」をテーマとしたパネル展を市の施設ギャラリーで開催しようとしたのが拒否されたり、姫路市では労働組合の市民集会で政権批判をしたのに対し、集会の内容に介入して、集会を途中で市が中止させたり、挙げるとキリがありません。

久保田 姫路市の例は、姫路市が「憲法が保障する集会、表現の自由を侵した」ことを認めて謝罪したことが報道されていましたが、最近の行政による表現の自由や集会の自由の侵害は目に余りますね。原因はどのあたりにある

健全な民主主義の在り方として
色々な意見があつて、自由に
表現したりできることが大事

SAICHU 誌上俳句会、開催!

今回、九条俳句不掲載問題を特集テーマにした本誌。

言いたいことも言えないこんな世の中(BY反町)だけど、埼玉中央法律事務所はそんな世の中を変えていきたい! 平和の素晴らしさをおもいきり表現したい! ということで、事務所の弁護士と事務局が、「平和」をテーマに詠んでみました。季語がない句もありますが、そこはご勘弁。SAICHU誌上句会のはじまり、はじまり〜。

号砲に 踏み出せ 一步 明日のため
弁護士 久保田和志

厳密には、「号砲」は季語にはならないと思いますが、秋の運動会で子どもたちが、号砲の音に合わせて走り出す姿を見て(ホントは見えてないけど(笑)、子どもたちの将来が希望に満ちあふれた平和な未来に向けて進んでいくと嬉しいな〜という気持ちで詠みました。また、「号砲」にかけて、政府が「合法」に、子どもたちの将来を、平和を、真剣に考えてほしい、という願いをこめました。

浦和で行われたレッドアクションに参加しました。埼玉県庁から浦和駅西口まで、赤い物を身につけた人々が途切れることなく歩いていて圧倒されました。

昇る月 議事堂前の 民主力
弁護士 青木努

戦争法案に反対して国会前に集まった多数の国民。これこそ本当の民主主義。そして、これからの希望。

8月30日の国会前は小雨交じりの空模様でしたが、集まった人々は思いのメッセージを書いた色とりどりのプラカードがありました。モノトーンと色彩のコントラスト、権力と市民の力。そんな印象を受けました。

炎天に 駅まで続く 赤い波
事務局 石黒

曇天を 彩る反戦 プラカード
事務局長 塚越

望月に 欠けぬ誓いを 「殺させぬ」
事務局 井深

スーパームーンをこどもたちと眺めている時に、浮かんだ句です。「安保関連法案に反対するママの会」のキャッチフレーズに、「だれのこどもも殺させない」というものがあるのですが、このフレーズは、母親の気持ちをズバリ表現していると思います。自分のこどもも殺させない、自衛隊の人も殺させない、他国の人も殺させない。母親としての強い想いを、大きな明るい満月に誓って。

娘と一緒にデモに参加したことを句にしました。季語ないけど。「戦争させない!」「9条守れ!」つないだ手に力をこめて、大きな声出しました。*

広めたい 「みんな違って みんないい」
弁護士 堅十萌子

日本国憲法は、私たち一人一人が主役で、一人一人を個人として尊重しています。みんな違って、みんないいんです。みんなと同じにする必要も、誰かに合わせる必要も、違うから批判されたり、いじめられる筋合いは全くない。むしろそれを許さない。私は、この憲法13条が大好きで、この言葉が子どもたちや日本中に広まってほしい、広めたいと思っています。

つなぐ手に 力をこめて デモに行く
事務局 堀江

箱根路に つなぐタスキの 重み知れ
弁護士 久保田和志

私は、駅伝ファンで毎年冬の風物詩である箱根駅伝を観戦しています。メンバーに選ばれていない者も含めた全員の強い思いのこもったタスキリレーを見ていると、全国津々浦々で戦争法案反対の気持ちのタスキが広がって繋がって行って、国会前に到達した強い意志の重さを、政府は知るべきだ、そう思わずにはいられません。

石川 智士



いた俳句掲載スペースを公民館の都合で不掲載処分として使わせないことは、施設の利用拒否や差別的取扱にあたるかと考えています。
久保田 その他にも、当然、作者の表現の自由を侵害することや、人格権を侵害することなども主張している訳ですが、この裁判を通じて何を問いたいと思っと思っていますか。

この裁判を通じて 本間に問いたいこと

育の点からも大きな問題があるので、まさに、公民館という存在が社会においてどのような役割を持つべきか、公民館の本質、市民のための公民館及び公民館だよりであるべきという点を問いたいと思っっています。
増田 私は、本来市民は、色々な考えをもっっていて当然であって、行政が「公平・中立」を理由に市民の自由な考えや研究・議論を制限することはあつてはならないと思っっています。ですから、「公平・中立」とは何なのか。憲法にお

「公平・中立」とは、市民の自由を縛るためのものではない

いても社会教育法においても、行政や権力を制限するための言葉であって、市民の自由を縛るためのものではないということを経験を通じて問いたいと思っっています。
久保田 2人の熱い気持ちと、作者の方が勇気を出して立ち上がったこと、市民応援団の献身的なサポートに学者の先生方が研究会を立ち上げてくれて、弁護士と意見交換会を何度となく行っけてくれていることに感謝しつ、市民の権利を守らなくてはいいけな

いという気持ちのバトンを繋げていって、勝訴を勝ち取りましょう。
石川 そういえば、今回の久保田さんの俳句は、「号砲」と「合法」をかけて、現政権の姿勢を民主主義の点から批判したのですが、これは政治性があるから不掲載になるかもですね(笑)。
増田 そもそも、季語がないから、俳句会で秀句に選出されるのは厳しいんじゃないでしょうか(笑)。
久保田 ……(泣)

以上

増田 悠作

